

ビジネスに変革を 地域に活力を

# Action 2016

平成28年度福岡県内の商工会事例集  
商工会等変革へのアクション事例集

ビジネスに変革を 地域に活力を

# Action 2016

経営発達支援計画とその事例  
小規模事業者新事業全国展開支援事業  
ふくおかいいもの新発見フェア  
Food EXPO Kyusyu 2016  
熊本地震復興支援



ビジネスチャンスを広げる商工会

## はじめに

商工会は、その地域の商工業の総合的な発展をはかり、あわせて社会一般の福祉の増進に資することを目的として、法律に基づき国・県の認可により設立された地域総合経済団体です。事業の大きな柱として地域振興と経営改善普及事業があります。

商工会は、地域の事業者が業種に関わりなく会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために活動を行っています。また、各都道府県には商工会連合会があり、広域的なテーマや専門的なテーマについて、事業者を支援いたします。

平成26年9月に小規模支援法が改正・施行されました。小規模支援法とは、商工会及び商工会議所が、その機能を活用して小規模事業者の経営改善等を支援するための措置を講じる法律です。

商工会は、「地域に密着した「顔の見える」支援」、「幅広い相談に対応可能」、「小規模企業支援のノウハウを持っていること」が強みであり、都道府県や市区町村との連携も取れているため、地域の中小企業・小規模事業者からのあらゆる相談に対応する「かかりつけ医」的な最前線の拠点としては最適と言えます。

その商工会が改正小規模支援法により、新たな役割を担うこととなりました。

改正小規模支援法では、小規模事業者がその地域で経営を持続的に行うためのビジネスモデルの再構築を全面的にサポートする体制を全国的に整備することとしています。

その方法の一つとして、需要開拓や経営承継等の小規模事業者の課題に対し、事業計画の策定や着実な実施等を事業者に寄り添って支援する体制（伴走型の事業計画策定・実施支援のための体制）の整備があります。伴走型というのは、まさしくマラソンなどで競技者のそばについて走が如く、小規模事業者とともに課題解決のため、支援を継続的に行うことです。

この体制整備の役割を果たすのが、商工会です。そのため、商工会の役割はますます大きくなっていくものと思われます。

本書は地域の活性化や経営支援活動に取り組んでいる活動内容を参考にしていただく目的で商工会・商工会連合会の事例をまとめたものです。

地域経済の活性化を推進する皆様の一助となることを願っております。

# ビジネスに変革を 地域に活力を

# Action 2016

## 平成28年度福岡県内の商工会事例集

## 商工会等変革へのアクション事例集

## 目次

	<b>1. 経営発達支援計画とその事例</b> P.4~7
	●商工会による経営発達支援計画・経営発達支援計画とは ●事例紹介（那珂川町商工会・八女市商工会・築上町商工会・福智町商工会）
	<b>2. 県連の行う重点勉強会・販路開拓</b> P.8~11
	●インバウンドマーケティング研究ワークショップ事業 ●ふくおかいいもの新発見フェア ●Food EXPO Kyushu 2016
	<b>3. 商工会の行う販路開拓</b> P.12~15
	●個別商談会2016（筑紫地区商工会） ●合同食品求評会事業（宗像市商工会・福津市商工会） ●商品パッケージ支援（宗像市商工会）
	<b>4. 商工会の行う地域活性化プロジェクト</b> P.16,17
	●中島商店街イノベーション事業（柳川市商工会）
	<b>5. 小規模事業者新事業全国展開支援事業</b> P.18~22
	●筑前クログマル等を使用した高機能食品の開発及び販路開拓（筑前町商工会） ●地域おこしと特産品開発事業「久留米はとむぎプロジェクト」（久留米南部商工会） ●「古代～近代の歴史エコミュージアム」（太宰府市商工会）
	<b>6. 女性部活動</b> P.23~27
	●九州ブロック商工会女性部交流研修会（福岡県商工会女性部連合会） ●田川地区の魅力探索と情報発信事業（田川郡商工会女性部） ●うきは産「富有柿」を使った味噌の開発販売（うきは市商工会女性部）
	<b>7. 青年部活動</b> P.28~31
	●青年経営者の主張発表全国大会（福岡県青連・粕屋町商工会青年部） ●熊本地震支援活動（福岡県商工会青年部連合会）

# 1. 経営発達支援計画とその事例



## 商工会による経営発達支援計画

### 商工会が今まで以上に会員のみなさまに密着した経営支援 "伴走型支援"への取り組みです

#### 経営発達支援計画とは

平成26年に「小規模企業振興基本法」の成立、「小規模事業者の支援に関する法律」の一部が改正されました。本改正では、小規模事業者の経営基盤の充実を図り、地域経済の健全な発展に寄与することを目的とし、商工会が小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓、持続的発展を伴走型で強力支援する計画書をつくり、それを経済産業大臣が認定する制度（経営発達支援計画）を導入しました。

#### 「経営発達支援計画」は 商工会にとって大きなターニングポイント

商工会は、地域に密着した唯一の経済団体です。地域に特化した情報（地域のニーズや課題など）を収集・分析し、その先につなげる経営支援（販路開拓や新商品・新サービスの開発など）を行います。地域の情報を収集することにより、その地域に適した経営サポートを行うことができるようになります。

経営発達支援計画が目指す「伴走型支援」を進めていくと、自ずと会員のみなさまとの接点が多くなり、いわゆる「事業計画」の作成に取り組むことが多くなります。これにより事業の見直しができ、自社の強みが明らかになり、新たな企画などにつながることもあります。事業計画の作成経験がない方ほど、多くの「気づき」が得られ、業績向上を果たした事例も少なくありません。また、事業計画の作成を行うと、小規模事業者持続化補助金などの獲得にもつながります。融資を申し込む時や、国・県の施策である各種補助金を獲得するうえでも「事業計画」の必要性は今後ますます高まります。まずは簡単な事業計画を作成することからチャレンジしていただけるように働きかけていきます。このことを商工会にとっての大きなターニングポイントと捉え、会員のみなさまにとって「使ってお得な商工会」を目指し取り組んでいきます。

平成27年度 認定商工会 (6商工会)	
商工会名	認定時期
春日市商工会	平成27年11月
うきは市商工会	〃
古賀市商工会	〃
大木町商工会	〃
東峰村商工会	平成27年12月
香春町商工会	〃

平成28年度 認定商工会 (28商工会)	
商工会名	認定時期
久留米南部商工会	平成28年4月
飯塚市商工会	〃
八女市商工会	〃
朝倉市商工会	〃
太宰府市商工会	〃
那珂川町商工会	〃
宇美町商工会	〃
筑前町商工会	〃
糸島市商工会	〃
添田町商工会	〃
福智町商工会	〃
築上町商工会	平成28年7月
早良商工会	平成29年3月
久留米東部商工会	〃
柳川市商工会	〃
大野城市商工会	〃
宗像市商工会	〃
嘉麻市商工会	〃
みやま市商工会	〃
芦屋町商工会	〃
水巻町商工会	〃
岡垣町商工会	〃
遠賀町商工会	〃
鞍手町商工会	〃
若宮商工会	〃
田主丸町商工会	〃
広川町商工会	〃
大任町商工会	〃



## 経営発達支援計画事例紹介

那珂川町商工会・八女市商工会・築上町商工会・福智町商工会

### 那珂川町商工会

#### 今後の経営支援につなげていくための基礎資料を作成 消費に関するアンケート調査の実施

那珂川町商工会管轄区域内の事業者が持続的に発展していくためには、那珂川町内における一般消費者の消費動向を的確に把握し、事業者にはフィードバックしていくことが重要であると捉えました。本調査は、一般消費者に対し、業種別サービスのイメージ等を調査し、事業者に対する今後の経営支援につなげていくための基礎資料を作成することを目的に実施し、平成28年度は、美容室、居酒屋、中古車販売の3つの業種の調査を行いました。方法としては、一般消費者に対して、街頭インタビューの型式で行い、町内外や利用頻度、金額等を町内のイベント開催時に聞き取りしました。平成29年度以降、5ヵ年計画の中で、まだまだ業種を増やしていく予定です。

本調査の大枠決定後、ポジショニングマップの作成に取り組む過程において、他にあまり例のない資料作成であったため、担当していただいた調査会社と共に悩みましたが、それだけ過去に事例のない資料作りということも、今後、那珂川町の需要を絞り込む新たなアイテムとしての活用が楽しみです。

### 八女市商工会

#### 地域を支える小規模事業者の経営力の強化 創業や事業承継の支援による地域経済を担う人材育成

##### バランススコアカード（BSC）の視点を参考に 巡回時のヒアリングを改善

今まで、会員の経営分析は金融支援や補助金申請時の活用と限定的で、商品・サービスの開発や売上増加、顧客確保等での活用は乏しいものだったと言えます。新たにバランススコアカード（BSC）の視点を参考に巡回時のヒアリングを改善していくことで、経営分析を強化して、発達支援の機会や課題等を早期に把握し、伴走支援につなげていきます。平成28年度は、会員の実態やニーズの把握を目的に「会員実態及びニーズ調査」を290件実施し、経営者の意識・経営内容・後継者・経営課題等40項目についてデータ収集し、事業所別に整理を行いました。この取り組みは、経営指導員のみならず、支援員も同行して行ったの



#### 創業者及び創業後2～3年の事業歴の浅い小規模事業者の支援に活用を

これまで創業者が家賃の価格や地域の人口といった根拠だけで安易に創業し、準備不足のケースが多く見受けられ、創業後2～3年の事業歴の浅い小規模事業者も思うように売上が伸びないケースが多々ありました。真に創業を実現させるためには資金計画、事業計画は基より、需要動向等も研究し事業成功までの道筋を明確化することが必要であると考えます。「消費者の生の声を容易にお伝えすることができる」このようなデータがなかったために提供できなかった情報も、今後はこの資料を元に進めていきます。

で、職員のスキルアップの底上げにも繋がったように思います。本来の目的は、ヒアリングを通じて、一早く事業者の抱える課題や成長機会の発見を行い、適切な支援につなげていくことなのですが、平成28年度は、そこまで到達した取り組みには至っていないと考えます。BSCの視点は事業者が認識している課題は勿論のことですが、認識していない課題に気付くことが期待されている背景が内包されています。次年度は、アンケート項目だけの確認にとどまらず、根本的な要因や関連を把握して実質的で本質的な支援につなげていきます。



築上町商工会

北九州市中心に情報誌を配布  
別の自治体の住民に絞りイベントや飲食店のPR

北九州から人を呼び込め！  
日帰り観光客増を目指す

築上町内の観光資源を北九州市内でPRし、北九州市からの日帰り観光客の増を図り、小規模事業者の売上向上と、地域活性化の実現を目標に平成28年7月、5ヵ年計画で認定を受けました。

東九州自動車道も開通し、北九州市内からだと30分で来町いただけるようになり、日帰りドライブにも最適となった築上町を北九州市民にPRするため、築上町通信「ちくちく」を発行しました。



会員からも期待の声が  
今後は京築地区全体で連携を深めたい

「町内だけの集客では経営が成り立たない。とはいえ、個人で戦略を立てるのも難しい。このように商工会が牽引してくれることで稼業に専念できるし、良いことづくめでありがたい。」このような期待の声を会員からいただきました。今後は近隣地域との連携を深め、京築地区全体の活性化へとつなげていけたらと思います。また、将来はちくちくの総集編として冊子なんかも発行できたらと思います。

この「ちくちく」は、現時点で2回発行（平成28年11月、平成29年2月）しました。小倉北区に80,000世帯、小倉南区にも80,000世帯、菊田町5,000世帯の合計165,000世帯にポスティングを行いました。今後の発行は、季刊発行で年4回を予定しております。掲載した飲食店には「ちくちくを見て来ました！」といったお客様もおられました。ますますの日帰り観光客の増により、町の事業者の売上向上と、地域の活性化に繋がればとの思いで今後も内容を充実させ発行していきます。

ちくちくの名称は「築上郡築上町」から取りました。表面では毎回、町内のピックアップ情報を掲載していく予定です。第2号では、町内一の来場者を誇る網敷天満宮で開催中の「しいだ梅祭り」を紹介、創刊号では築城基地航空祭を取り上げました。また、築上町物産館メタセの杜の商品券が当たる、抽選応募券を掲載。裏面には、掲載したどの飲食店に訪問したか、○印を付けるフォームを用意し、動向調査も兼ねる工夫がなされています。

創刊号を見て町を訪問したという計92人へのアンケートによると、ちくちくで紹介した名所や飲食店などを平均3ヵ所ほど訪れており、一定の成果があったものと分析しています。



写真は西日本新聞 その他にも朝日・読売・毎日新聞にも掲載



町内一の来場者を誇る網敷天満宮

福智町商工会

需要動向調査の実施  
今後の商品開発や事業計画の立案に役立てる

地域経済を下支えするための  
長期的で地道な事業を行う

事業者への経営支援や地域活性化につながる取組みを通じた活力ある町づくりに資する、地域経済を下支えするための長期的で地道な事業を行うこととし、「持続的経営を通じた明るく活力のある地域創生」及び「地域資源力の発揮」を目標に掲げ、平成28年4月に認定を受けました。

事業目標を達成するため、小規模事業者が元気になることを目的として、適切な事業計画の策定や事業計画の実現可能性を高めるための事業を実施します。また、福智町ブランドを向上させるための事業等、特に伝統工芸の上野焼（あがのやき）事業者、福智町ブランドの拡大に取り組む事業者、6次産業化を目指す事業者には重点支援を行います。

会員事業所が販売する商品についての  
需要動向調査を実施

平成28年度は、今後の商品開発や事業計画の立案に資する資料を作成することを目的とし、会員事業所が販売する商品の中から、チーズケーキ、弁当、陶器（上野焼）について、需要動向調査を実施しました。調査の方法として、会場モニター調査を採用し、消費者のニーズをくみ上げ、新たな作品づくりに生かしています。



福智町がほこる伝統工芸「上野焼（あがのやき）」  
地域活性のビジネスモデルを構築

約400年の歴史を誇る伝統的工芸品「上野焼」、最多で28あった窯元は現在では20に減少し、売上減、後継者不足により衰退著しい状況にあります。そして、現代の生活スタイルも多様化し、商品展開の見極めも難しい状況です。

そんな中でも、福智山の中腹で昭和56年より窯を構える「守窯」の新商品「はなねずみ」は、モニター調査で好評を得ることができました。特に20代の方からの評判が高く、はりねずみの背の部分に施したドライフラワーの一種、フェニックスフラワーのデザイン性が好評を得ています。見た目においても、可愛らしさだけでなく、陶器とドライフラワーという組み合わせに驚きの声が上がリ、プレゼントとしての需要に期待がもてる結果となりました。この結果を踏まえ、内外へのPR方策の立案や実行・販売方法等を検討し事業者支援を行っていきます。



会場モニター調査の様相



上野焼 守窯の新商品「はなねずみ」

福岡県商工会連合会

キーワードは"情報発信"  
インバウンドマーケティング研究ワークショップ事業

個人や小規模グループの訪日外国人旅行を  
ターゲットとしたマーケティング

福岡県への外国人観光客の増加や、民泊の規制緩和の動きなど、インバウンド需要に伴う地域事業者のビジネスチャンスも年々傾向にあります。この状況に関心を持ちながらも、どこから手掛けてよいか分からない中小企業・小規模事業者が多いため、まずインバウンドマーケティングについての情報提供を行うとともに、実際に事業化を考える事業者に対しては、その具体的計画づくりの支援を行うことを目的に実施しました。



11/22 インバウンド取組みセミナーの様子

今すぐ始める  
インバウンド  
ビジネスとは？

参加費無料  
(各会場  
先着50名)

インバウンド  
(訪日観光客)  
マーケティング講座

本講座では、最近よく耳にする「インバウンド」って何？といった基礎から、外国人観光客への効果的な情報発信、彼らをお客様として取り込むためのヒントを学んでいただけます。県内8会場で開催

このような想いを抱いている方の参加をお待ちしています！

- インバウンド需要を取り込みたいと思っている方
- 自社商品・サービスを海外の人にも関心を持ってもらうには？と悩んでいる方
- 外国人観光客の行列をみて「自社の店舗・商品と何が違うの？」と思った方
- 大型商業施設での外国人観光客の買い物の様子がやたらと気になる方
- インバウンドとは何かよく分からないが、とにかく売上げたい方

受講を希望される方は、裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、福岡県商工会連合会まで、電話・FAX・メールにてお申込ください。

お申込み・お問い合わせ先

福岡県商工会連合会 TEL 092-622-7708 FAX 092-622-7798

最初の段階として、インバウンドとは？といった基礎から、訪日外国人の消費を取り込むための具体的な情報発信の方法(マーケティング)や、外国人観光客をお客様として取り込むための仕組みを学んで考えていくインバウンドマーケティング講座を県内7会場で開催しました。キーワードは"情報発信"です！

【講座内容】

- インバウンドの概要について  
(公益社団法人福岡県観光連盟)
- 福岡県の取組みについて  
(福岡県商工部観光局観光振興課)
- インバウンド対応の心得帖  
(福岡県商工部観光局観光振興課)
- 情報発信について  
(西日本新聞社 広告局 業務推進部)
- ムスリム観光客受入の基礎知識  
(福岡県企画・地域振興部国際局地域課)

【開催日時・場所・参加者数】

- ①8/23(火) 太宰府市商工会館 24名参加
- ②8/25(木) 水巻町商工会館 12名参加
- ③8/30(火) 糸島市商工会館 14名参加
- ④9/1(木) 飯塚市商工会庄内支所 23名参加
- ⑤9/8(木) 朝倉市商工会館 18名参加
- ⑥9/13(火) 柳川市商工会大和支所 15名参加
- ⑦9/15(木) 福岡県中小企業振興センター 38名参加

先進事例と在日外国人に学ぶ  
インバウンド取組みセミナー実施

次の段階として、講座参加者のうち、事業化への関心の高い事業者を対象としてインバウンド需要の取り込みに成功している経営者のノウハウを学び、在日外国人の方々と意見交換を行いました。最終的に事業計画づくりのための重点支援(専門家を交えた個別支援)を次年度行う予定です。

【講座内容】

- 先進事例講演 ①「膳・お宿 西亭」西尾成子氏  
②「株樹蘭」中野一美氏
- 在日外国人とのパネルディスカッション  
(パネリスト) HAKATA外国語スクール代表 住野俊江氏  
他講師1名

オランダ人留学生2名  
西日本新聞社報道センター長 花島滋氏

【開催日時・場所・参加者数】

- 11/22(火) 福岡県中小企業振興センター 62名参加

福岡県商工会連合会

福岡県の隠れた逸品の展示販売会  
ふくおかいいもの新発見フェア in 博多マルイ

地元の道の駅などでは販売されているが  
広く知られていない逸品が県内には多い!!!

福岡県内の各地域で作られている県産品や特産品を広く知ってもらい、福岡県産業の活性化を図るため、「ふくおかいいもの新発見フェア」を平成28年5月と9月に、福岡県の隠れた逸品発掘・育成プロジェクトの一環として開催しました。

本事業は「博多マルイ」で開催し「ふるさとを味わう」「つくり手の思いを知る」「新しい発見を楽しむ」3つのコンセプトで、福岡の一般消費者の皆様や九州内外の観光客に向けて、広く「福岡の逸品を発信する」ことが最大の特徴です。

5月に開催した第1回では、熊本地震の被災地支援のため、急ぎよ、熊本産の商品の売り出しも行いました。9月に開催した第2回では、【新企画】みんなが選ぶ！福岡の新定番！「ふくおかいいもの新発見 総選挙」と銘打って、県内各地のエントリー商品から「博多マルイ ユーザーズセレクション」を選定、福岡県の新しい定番をみんなで選び、福岡県産品に興味を持ってもらうとともに、

**楽しむ**  
新しい発見を楽しむ

魅力的だけどあまり知られていない商品、たくさん作れないからスーパーに置くことのできない商品、これらの発見を楽しみました。

**知る**  
つくり手の思いを知る

どの商品もこだわりがあり、なにより地元から愛されている商品たちです。つくり手の話を聞き、商品のことを知りました。

**味わう**  
ふるさとを味わう

見つけることを楽しんで、商品について知る。そして味わいました。美味しくなくては、やはりおすすめできません。



第1回出展のアガペファーム(筑前町)のブース(左) 生姜シロップなどを販売



「応援したい」という気持ちの醸成・共感を促すことで、福岡県産品の隠れた逸品の発掘・育成につなげることを目的に実施しました。商工会による推薦商品22品目がエントリー、「クロダマル」が使われていることとドレッシングなしでも美味しくサラダが食べれるというのは魅力、サラダに混ぜるだけで健康的に美味しく食べれる手軽さが魅力などの評価を受けたアリコスデリ(福岡市)の黒豆サラダが1位の栄冠を獲得されました。

みんなが選ぶ！福岡の新定番！

ふくおかいいもの新発見 総選挙

ふくおかいいもの新発見フェアin博多マルイ

「ふくおかいいもの新発見 総選挙」結果発表

9月17日(土)～9月25日(日)に行われた「ふくおかいいもの新発見フェアin博多マルイ」。同フェア内にて、県内各地のおすすめの商品のナンバー1を決定する「総選挙」を実施しました。エントリー商品は県内商工会が推薦する22アイテム。同フェアにて購入いただいたお客様からの投票によって、これらの福岡の新定番候補商品「博多マルイユーザーズセレクション」が決まりました！

【総選挙結果】

1位 黒豆サラダ  
容量/110g 734円(税込)  
アリコスデリ(福岡市)  
Food EXPO Kyushu 実行委員会 推薦  
・多く女性に好まれる逸品だと思います！  
・サラダに混ぜるだけで健康的に美味しく食べれる手軽さが魅力。  
・「クロダマル」が使われていることとドレッシングなしでも美味しくサラダが食べれるというのは魅力です。

2位 アニマルドーナツ  
容量/1個 270円(税込)  
(有)カムカンパニー(芦屋町)  
芦屋町商工会 推薦  
・見た目が可愛くて思わず買いました。  
・コラーゲン入りで揚げたので、女子向けです！

3位 カップイン・コーヒー  
容量/9g×15包 670円(税込)  
オアシス珈琲(有)(飯塚市)  
飯塚市商工会 推薦  
・コーヒーのアーバックタイプが手軽で便利！  
・県内で美味しいコーヒーが飲みたいという方にはおすすめです！

4位 いたりあんばじる醤油 ITABAJI  
容量/200ml 540円(税込)  
でんごころ産直(宗像市)  
宗像市商工会 推薦  
・イタリと日本のコラボが面白い。  
・学生や行政との共同開発で安心。応援したいです！

5位 子供と食べたい糸島の塩から手づくりドレッシング  
容量/110ml×3本 1,167円(税込)  
糸島市産直(糸島市)  
糸島市商工会 推薦  
・手づくり糸島の自然を感じられる商品。  
・パッケージやデザインがすごくよく、プレゼントにもいい

問合せ先：福岡県商工会連合会 経営支援課(相模：元井) TEL 092-622-7708

フードエキスポ九州2016



BtoB事業「国内外食品商談会」



■ 展示商談会

開催日時

平成28年10月4日（火）～6日（木）10:00～17:00

会場

福岡国際センター（福岡市博多区築港本町2-2）

参加バイヤー・国・地域

国内：59社：77名 海外：15ヶ国地域49社：65名  
合計：16ヶ国地域108社：142名

【参加海外15ヶ国地域】

韓国・中国・台湾・香港・マカオ・ベトナム・タイ・マレーシア・シンガポール  
ミャンマー・フランス・ドイツ・オーストラリア・ニュージーランド・米国

内容

出展者が商品を展示するブースを多数のバイヤーが訪問し、試食や商談を行う。出展者のブース及び会場内の商談コーナーにて自由に商談を実施。

出展者

出展者数：福岡76社、佐賀9社、長崎21社、熊本17社、  
大分11社、宮崎11社、鹿児島6社

合計：152社（昨年度実績：150社）

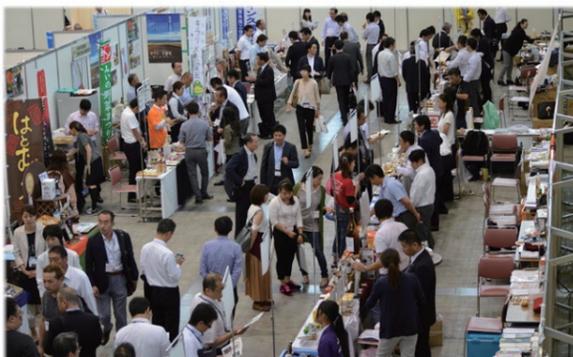
来場者

国内外の食品流通企業、中食・外食関係者、ホテル、通販、  
商社等のバイヤー

来場者数：4日 1,444人、5日 1,380人、6日 1,486人

合計：4,310人（昨年度実績：4,546人）

※内訳 卸売19%、商社13%、小売11%、飲食・サービス11%  
製造11%、通販4%、個別商談会9%、関係者等22%



展示商談会の様子

九州の食産業の振興・活性化  
九州ブランドを国内外に発信

世界的にも優れた高付加価値の九州産農林水産物、加工食品を国内外に発信し、地場食品関連企業の更なる売上向上、販路拡大及び地域経済の振興を目的に開催する事業として、福岡県、福岡市、ジェトロ福岡、福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所、福岡県商工会連合会の6団体で構成する「Food EXPO Kyushu 実行委員会」は、BtoB事業（国内外食品商談会）とBtoC事業（九州うまいもの大食堂）を開催いたしました。

■ 個別商談会

内容

事前に出展者・バイヤー双方から商談希望リストを提出していただき事務局にて商談をマッチング。予め商談時間割を作成し、個別ブースで商談をして頂いた。

実績

【招聘バイヤー企業数】108社（16カ国）

※昨年度実績：106名（15カ国）

【商談数】

・4日 240商談（海外95、国内145）

・5日 280商談（海外114、国内166）

・6日 193商談（海外75、国内118）

合計 713商談（昨年度実績：687商談）

【商談結果】（10月20日現在）

・採用：134件 ・前向きに商談を継続：334件

・改善すれば見込みあり：138件

■ 訪問商談会

内容

バイヤーが福岡県内にある食品メーカーの工場や一次産物の生産地等を訪問し、現地で商談を10月7日に実施。

コース・参加者

【Aコース】 宗像市・岡垣町コース

【Bコース】 復興支援★がまだせ熊本コース

【Cコース】 福岡市内コース柳川＋大牟田世界遺産コース



訪問商談会の様子

■ 海外展開チャレンジ塾「海外バイヤーとの求評会」  
in フードエキスポ九州

海外展開に取り組む企業を応援する「海外展開チャレンジ塾」（県連主催）とフードエキスポ九州は親和性が高いため、関連事業として連携するだけでなく、より一層の相乗効果を創出するため、ドッキング企画としてBtoB国内外食品商談会の中で、海外バイヤーや海外専門家の協力を得て、海外からの視点で、商品ブラッシュアップのための求評会を実施しました。



BtoC事業「九州うまいもの大食堂」



BtoC事業においては、「九州うまいもの大食堂」と銘打ち一般消費者向け展示即売会事業を行い、地場食品関連産業の更なる売上向上を目指しました。3回目の実施にして初めて雨天による影響を受けましたが、昨年を超える、約136,000人の皆様にご来場頂きました。

開催日時

平成28年10月7日（金）～10日（月・祝）  
10時～20時（初日は11時から、最終日は16時まで）

会場

天神中央公園（福岡市中央区天神1-1）

出店実績

- ① 食べ歩きブース（一般68社、協賛2社）  
九州・沖縄地域の事業者（一般募集）による食品・飲料等の販売。
- ② 企画ブース（8社・団体）  
九州・沖縄地域の事業者（主催者より個別打診）による郷土料理等の販売。

来場実績

4日間合計 136,000人（前年度実績：134,000人）



ISIMTS 2017  
SUPERMARKET TRADE SHOW  
スーパーマーケット・トレードショー

国内大型商談獲得支援事業  
スーパーマーケット・トレードショー2017合同出展

当会では広域的な販路開拓に意欲ある県内事業者を支援するため、国内最大級の食品展示商談会スーパーマーケットトレードショー2017へ福岡県ブースを出展しました。

会場には新たな商材を見つけるために、全国各地からスーパーや百貨店、飲食店等のバイヤーが来場されており、非常に多くのバイヤーが福岡県ブースに立ち寄りいただきました。当会ブースの出展者からは、「たくさんのお名前交換ができ、取引先が増えました」などの声も多くあり、食品関連業者にとって絶好の販路開拓の場を提供することができました。

開催日時

平成29年2月15日（水）～2月17日（金）  
10：00～17：00

会場

幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）

出展事業者

18企業（16ブース／8小間）

対象企業

食品製造業者等



【次回予告】

スーパーマーケットトレードショー2018  
平成29年度も商工会が伴走支援する企業等の県内事業者を対象に出展企業を募集いたしますので、是非お申込み下さい。（選定有り）

開催時期：平成30年2月14日（水）～16日（金）  
開催場所：幕張メッセ（千葉県）  
出展料：10万円以内  
※募集については、平成29年6月頃に募集を開始します。詳細は、募集案内をご覧ください。

### 3. 商工会の行う販路開拓

筑紫地区商工会(大野城市・春日市・那珂川町・太宰府市・筑紫野市)

繋がり広がれ筑紫の発信力!!  
会員企業へ、価値ある「出会い」をご提供

「人と人」「ビジネスとビジネス」をつなぐフィールドへ!!  
筑紫地区商工会 **参加無料**

## 個別商談会2016

日時 **2016.11.21日 10:00~17:00**  
会場 **ロイヤルチェスター福岡(大野城市)**

申込締切日  
平成28年  
9月15日(木)

繋がり広がれ筑紫の発信力!!  
参加会員募集!!  
筑紫地区商工会会員企業の皆様へ  
価値ある「出会い」をご提供します。

主催：大野城市商工会・春日市商工会・那珂川町商工会・太宰府市商工会・筑紫野市商工会



経営環境がまだまだ厳しい中、地域の中小・小規模企業にとっては販路開拓及び売上アップが、非常に重要な課題となっております。

このような中、筑紫地区5商工会の7,600会員のビジネスチャンスを拡大し、地域経済の活性化を図ることを目的として、個別商談会2016(以下 商談会)を開催しました。

会員企業の方々が、自社の商品・技術・サービス等アピールしたい内容を記入したヒアリングシートを取引企業に配布し、取引企業より商談したいという希望があった会員企業のみが、開催当日に会場にて個別商談に臨むという形式で行われました。



#### 本事業のポイント

コンサル企業に取引企業を探してもらうため、個別商談を実施する可能性を増やすことができます。また、商談会を希望する取引企業がなかった場合は、当日来場して頂かなくて良いこととし、昨年度まで行っていた展示ブース形式も取りやめ、商談の成立に重きを置き計画しました。

#### コンサル企業紹介

(株)富士経営 設立：1976年10月  
<http://www.fujikeiei.net>

「人と企業の存続と発展に寄与する」ことを理念に掲げ、全国600社以上の中小企業の再生・M&A・事業承継・経営者養成など成長展開に総合的な視野で携わる。

#### 効率よく商談ができそう? 193件もの商談数

「自分では見つけることのできないバイヤーを見つけてくれそう」「自社に適した企業を紹介してもらえそう」そんな期待を一心に、114名の会員が参加、個別商談(会員&バイヤー)が172件、マッチング(会員&会員)21件の合計193件もの商談を実施することができました。参加された6割の会員に満足以上の評価も頂きました。商談の結果として、その日のうちに3件が成立、また商談の65%が今後も継続して交渉を行っていきける状況となりました。1コマ30分という設定に短すぎるとの声も多かったのですが、コンサルによる取引企業探しを功を奏したため、商談を活発に進ませることができたと考えられます。

また、参加会員の声として多くあったのが、日頃では全く思いつかない方向からたくさんアドバイスを頂けたというものでした。目からウロコと大変喜ばれておりました。



#### 講演会・交流会も開催 お客様を満足させる接客術

商談会の特別企画として講演会・交流会を開催、「元ディズニーキャストが教えるお客様を満足させる接客術」というテーマの講演では、アンケートの結果、約8割の方に満足頂き、180度考え方が変わったとおっしゃられる方もいらっしゃいました。また、「接客マナーの基本はこの講義の内容が全てである。社員みんなに聞かせたいくらい参考になりました。」と、このような声が頂ける講演会を開催することができました。



#### 筑紫地区商工会個別商談会2016 特別企画 講演会・交流会のご案内

筑紫地区商工会個別商談会2016の特別企画として講演会・交流会を開催いたします。講演会では、淡路 直樹氏をお招きして「元ディズニーキャストが教えるお客様を満足させる接客術」というテーマでご講演いただきます。その後、交流会を予定しておりますので、この機会に多数ご参加くださいようご案内申し上げます。

- 開催概要**
- ◆開催日時：平成28年11月21日(月) 16:10~19:15
  - ◆場所：ロイヤルチェスター福岡(福岡県大野城市維新街3-3-15)
  - ◆参加費：1,000円/人 1事業所2名程度のご参加をお願いいたします。
  - ◆定員：先着80名様(※商談会参加者を優先しますのでご了承ください)
  - ◆申込方法：下記参加申込書にご記入の上、FAXまたは商工会窓口へご提出下さい。
  - ◆申込締切：11月4日(金)
  - ◆注意事項：交流会ではお酒を提供いたしますので、お車のご来場はご遠慮ください。

- 1) 講演会(16:10~17:10)  
テーマ：元ディズニーキャストが教えるお客様を満足させる接客術  
講演者：淡路 直樹氏

講師 淡路 直樹氏  
大学在学中、東京ディズニーランド運営部にてアトラクションキャストとして第一線で接客に従事し、トレーナー・キャストを経験することで人財育成の素晴らしさに目覚める。  
その後、東京ディズニーランドホテルや東京ディズニーシー・ホテルミラコスタなどのディズニーホテルを運営する会社にてホテル開発プロジェクトや、約5年間人財育成教育担当として、ディズニー・ホテル・キャストの教育、オペレーションマニュアル作成担当として勤務。接客、コミュニケーションスキルなどのトレーニングを得意とし、長年ディズニーで学んだサービスのコツや、人財育成担当としての経験からの話を交えた研修に大変好評を得ている。

- 2) 交流会(17:15~19:15)  
交流会では筑紫管内の商工会会員や個別商談会に参加したバイヤーなどが出席いたします。また、交流会は立食でのビュッフェ形式となっております。

#### 筑紫地区商工会 個別商談会 ヒアリングシート【記入例】

フリガナ	カ)マルマルセイチャ	フリガナ	ヤマダ ティアタロウ	
会社名(事業所名)	株式会社〇〇製茶	代表者名	山田 茶太郎	
業種(業務内容)	各種お茶の販売			
所属商工会	大野城市・春日市・那珂川町・太宰府市・筑紫野市			
所在地	福岡県筑紫野市〇〇〇〇〇			
TEL	(092) 777-7777	メールアドレス	tyataro@111111	
URL	http://marumaru-seiya.com			
会社概要	【創業(設立)年月】	昭和26年10月	【従業員数】	8名
	【資本金(法人のみ)】	10,000千円	【担当者名】	茶山 一郎
商品・技術・サービスの概要(特徴)	【沿革・特徴】	創業以来、今年で40年目を迎える福岡県のお茶メーカーです。「遠くまで届くお茶」をテーマに、商品づくり・販売サービスを通じてお客様と社員と大切に付き合っています。お茶の種類は多岐にわたり、玉露から煎茶・番茶・抹茶・ほうじ茶・焙煎茶など多岐にわたる商品を取り扱っています。最近ではお茶の健康に良い効果があるお茶を開発し、今ではそんなお茶の健康食品「青汁ドリンク」を開発しています。		
	名 称	青汁ドリンク		
	概 要	青汁ドリンクは「青の健康」「青汁」「青汁の味」を配合した、オリジナル青汁です。この配合は他にはありません。青汁にはカルシウムやビタミンEが豊富に含まれていますが、「青の味」にこだわりました。青の味にはカルシウムやビタミンEは含まれない、含有成分が豊富です。また、特にお茶のカルシウム・ビタミンEなどのミネラルも豊富です。これを近頃コンビニ等で販売されているドリンクタイプにしたのが、本商品の魅力です。		
	販売価格	1本(200ml) 100円		
希望する商談相手(複数可)	・メーカー ・代理店 ・ゼネコ ・コンサル ・卸業(卸売店、スーパー、量販店等) ・流通(通販、百貨店) ・その他			
類似商品との違い	他の商品を主成分とした青汁 ・粉末ではなく、ドリンクタイプで店頭販売			
自社PR	商品の味、安全性には絶対の自信を持っています。			

なるべく、すべてご記入していただきますようお願い致します。  
・ご記入いただきました個人情報は「筑紫地区商工会個別商談会2016」の募集および運営のために使用します。  
・反社会的勢力の参加や取引はできません。  
・このヒアリングシートは各商工会のホームページから、ダウンロードできます。



筑紫地区商工会  
個別商談会2016  
主催：大野城市商工会・春日市商工会・那珂川町商工会・筑紫野市商工会



## 4. 商工会の行う地域活性化プロジェクト

### 柳川市商工会

## 「中島商店街イノベーション事業」 商店街を中心に地域産業の振興と地域コミュニティの活性化

### 中島商店街イノベーション事業とは？

中島商店街は、古くから漁師町の商店街として栄えてきました。ここで開催される「中島朝市」は、約150年の歴史を誇る朝市で、有明海の幸と新鮮な地元産の野菜などを中心とした露店が並び、昭和初期を思わせるレトロ調の佇まいや売り子さんとのやりとりを楽しめることで人気を博してきました。

しかし、かつては活況を呈していた朝市も、現在では来客数が激減しています。来客数減少は出店数の減少を招き、そのことで商店街・朝市の魅力が低下し、さらにお客が減るといった悪循環に陥っています。



### ■ 事業計画

#### ①「中島イノベーションセンター」整備事業

商店街内の空き店舗を改修し、各種イベントなどに活用する協議会の拠点となる施設を整備する。

#### ②「中島イノベーション推進協議会」PR事業

朝市や商店街の店舗情報や協議会の活動等を発信するため、ホームページやパンフレットを作成する。

#### ③中島朝市魅力向上・情報発信イベント事業

有明海産海苔のPR・直売、中島祇園との連携イベント、朝市食堂の開催など、朝市の魅力向上・情報発信につながるイベントを企画・開催する。

#### ④新商品開発事業

中島朝市で取り扱う地元産品をつかった新商品開発に取り組む。

#### ⑤朝市モニターツアー事業

朝市の魅力事業と併せ、新たなお客様を呼び込むためのモニターツアーを実施する。

このような厳しい状況を受け、今回、国の交付金を活用し、中島地区の新たな活性化事業を実施することとなりました。この事業では、中島朝市という地域資源を磨き上げてブランド化することで、商店街をはじめとする地域産業の振興及び地域コミュニティの活性化につなげ、交流人口と地域消費額の増加を通じて、中島地区の賑わいを創出することを目指します。

この事業では、商店街関係者をはじめ地域住民の主體的な取り組みが必要不可欠となるため、商工会、中島商店街、地元有志等の代表者による「中島イノベーション推進協議会」を設立し、事業を推進します。

### 「中島イノベーションセンター」整備事業 名称：交流館なかしまワッセ



空き店舗を改修するにあたっては、建築士や大工による監修の下、解体から土工事、塗装に砂利敷き、内装インテリア工事までをワークショップ形式で行い、地元の方々や子供たち、高校などに参加を呼びかけ、作業後はバーベキューなどを行い、改修の段階から積極的に交流を図りました。



ワッセ！  
なかしま  
プロジェクト

### 交流館なかしまワッセ オープン オープニングイベント ワッセ！なかしま祭りも開催

2月25日（土）、交流館なかしまワッセをオープンさせることができました。オープニングイベントとして「ワッセ！なかしま祭り」も開催、地元の中島商店街の100円市や中島小学校の生徒による海苔パンの販売、杉森高校の生徒が開発したうなぎ骨出汁のフォーの販売など、様々な方に協力いただき、大盛況の下、終えることができました。これを期に、観光体験型朝市へと生まれ変わり、新たな観光スポットとして確立していきたいと考えています。将来的には、事業計画に掲げた事業をワンストップで行う法人の設立を目指していきます。

### 柳川市商工会女性部監修 手作り海苔石けん

柳川市商工会女性部では、中島商店街イノベーション事業の新商品開発事業の一環として、特産品の海苔を使った石けんの商品化に挑戦しています。オープニングイベントでは、試供品を無料配布し大好評でした。翌月には石けん作り教室を開催しました。雑貨品として販売するのであれば、すぐにも販売は可能ですが、その場合、洗濯石けん・台所洗剤と同じ扱いとなってしまいます。女性部としては、海苔の効能を広めたいとの思いで商品開発を行っているため、薬機法をクリアし化粧品として販売することを目指しています。

干満の差が激しい有明海で育つ海苔は干潮時に、天日にさらされてしまいます。そこで海苔自身の防御本能が働き、ポリフィラン（紫外線や湯水から身を守る成分）という成分が水分を自ら蓄えようとします。海苔のあの独特の「ぬめり」がそれにあたります。また、この「ぬめり」こそ高級海苔「有明海産」の特徴でもあります。ポリフィランは、保湿効果、皮膚老化防止効果、乳化作用などさまざまな効果が期待できます。この特性を発信するためにも、薬機法をクリアすることは不可欠と考えます。

石けん作り教室は、交流館の積極的利用も兼ねて、毎月第3土曜日に開催予定です。



試作品の海苔石けん



商工会長あいさつ



交流館なかしまワッセ館内



交流館なかしまワッセ館内

### 交流館なかしまワッセ

所在地：中島商店街内 柳川市大和町中島722-2

西鉄中島駅から徒歩1分

ホームページ：<http://wassenakashima.com>

facebook：<https://www.facebook.com/nakashima.asaichi>





久留米南部商工会

久留米市三潞地区の特産ハトムギをつかって行う  
地域おこしと特産品開発事業「久留米はとむぎプロジェクト」

福岡県久留米市は全国で5番目、九州最大のハトムギの産地です

「久留米はとむぎプロジェクト」とは、久留米市三潞地区の特産ハトムギをつかって行う地域おこしと特産品開発事業のことで、平成20年ごろからJAを中心に、ハトムギを特産品として販売したいとの機運が高まりました。

久留米南部商工会においても、この動きに呼応し、地域活性化のために全面的に協力をしていくこととなりました。事業開始後、国、福岡県、久留米市の財政的な支援を受け、平成22年より現在までハトムギを使った特産品開発事業に取り組んでいます。

久留米産ハトムギで産学官連携！  
新しい可能性を広げます

平成26年度からは国、福岡県、久留米市のご支援のもとJAみずまとの連携および福岡県工業技術センター生物食品研究所の技術指導により、久留米市三潞産のハトムギをより深く研究することができました。

平成28年度、開発・製品化されたハトムギ商品を販路に乗せることで地元地域活性化に貢献できるように地域一丸となってプロジェクトに取り組んでいます。

「はとむぎ」ってなあに？

はとむぎはイネ科の1年草植物です。中国産からインドシナ半島にかけての原産とされ、植物分類ではトモロコシに近い仲間です。主な産地は「三潞周辺」が主産地、若手南州市衣川区、花巻市、栃木県足利市・小山市・茂木町、広島県三原市、青森県中泊町、富山県氷見市などです。

英名「Job tears」 日本名「ハトムギ」  
英名で「Job's tears」は「涙の粒」や「涙の粒」を意味する。はとむぎの種子は、涙の粒のように入っている。また、はとむぎの種子は、涙の粒のように入っている。また、はとむぎの種子は、涙の粒のように入っている。

「はとむぎ」の構造  
種子「ヨクイニン」  
はとむぎの栄養成分は穀物の中でNo.1  
はとむぎの栄養成分を玄米と比較すると、タンパク質は玄米の2倍、脂質は1.8倍、鉄も2倍以上、ビタミンB1やカリウム、カリウムも豊富です。必須アミノ酸を含むアミノ酸量は玄米の2倍以上あり、炭水化物は1.2倍です。

女性にうれしい「はとむぎ」の効果  
美肌を育てるはとむぎ  
女性ホルモンの分泌も活発に  
はとむぎは、女性ホルモンの分泌を促進する効果があります。また、はとむぎは、女性ホルモンの分泌を促進する効果があります。

これまでの取り組み実績

- 平成22年度  
はとむぎプロジェクト発足（県提案公募事業）  
はとむぎ玄米、おかゆ、せんべい、クッキー等の試作品の開発及び意識調査。
- 平成23年度  
ハトムギを使った加工品開発事業（県提案公募事業）  
組織体制構築、引き続き試作品を開発。
- 平成24年度  
ハトムギを使ったメニュー開発（久留米市助成事業）  
平成23年に続き試作品を開発。実店舗においてメニューとして提示し、反応を探る。
- 平成25年度  
九州大学農学部と共同開発（県提案公募事業）  
九州大学と連携し、ハトムギの効能について研究開始。
- 平成26年度  
小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業（調査研究事業）  
平成25年に続き九州大学と共同研究。県工業技術センターの協力を得る。試作品開発及び先進地視察研修の実施、事業化の第一歩を踏む出す。
- 平成27年度  
小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業（本体事業1年目）
- 平成28年度  
小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業（本体事業2年目）

研究を重ねて得た効能などの情報を含め、ハトムギの魅力の商品パンフレットに掲載しました。特に女性にとってはうれしい美肌効果や女性ホルモンの分泌の活性化に効果があり、食品加工品に限らず、石けんや化粧水の販売促進にも期待しております。

ハトムギこぼれ話  
ハトムギは古来、中国で美容食として宮廷料理に用いられていました。日本では今から1300年前、薬草記録の中でも有名な「出雲風土記」に「ハトムギ」の名前が挙がっています。  
ところが紀元前、秦の始皇帝の命を受け徐福（ジュフク）が日本を訪れた際、長崎に着いて、三潞を通り、和歌山と向かいその間、民間薬としてハトムギなどを教えたという伝説もあります。  
他にも鑑真和尚が伝えたとか、加藤清正が持ち帰ったなど諸説多数。今では、ハトムギは1700年代（江戸時代）に東南アジアから来たと思われていますが、さてどの説が正しいのでしょうか？  
いずれにしてもハトムギは昔から注目される穀物だったようです。

1年間で6箇所！  
全国規模の展示会や商談会等にも出店

新商品開発とともに、平成28年度は、展示商談会等に出席（全6回）し、商品化されたものは、来年度以降も随時、販路拡大に取り組むとともに、「はとむぎ物語」（平成27年商標登録済）、久留米はとむぎブランドの構築を進めます。

- 平成28年度 出店した展示会や商談会
- 第11回アグリフードEXPO 東京2016  
2016年8月18,19日 東京ビッグサイト
  - 第20回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2016  
2016年9月7~9日 東京ビッグサイト
  - FOOD EXPO KYUSHU 2016  
2016年10月4~6日 福岡国際センター
  - ビューティワールドジャパンウエスト  
2016年10月24~26日 インテックス大阪
  - 地方銀行フードセレクション  
2016年11月8,9日 東京ビッグサイト
  - 国際化粧品展  
2017年1月23~25日 東京ビッグサイト

はとむぎブランドの一部を紹介！

焼き餃子  
餃子の名店「湖月」(六ツ門町)の開発商品。ハトムギ粉を川に練り込み、手作り無添加の安心・安全な餃子です。平成28年度現在、店頭及び道の駅ぐるめスープ餃子とともにテスト販売中です。

ダックワーズ  
洋菓子工房「ラ・ペ」(城島町)の開発商品。はとむぎ味噌を加えた本商品は6年の歳月をかけて考案された美味しい焼き菓子です。

ハトムギビール  
㈱ケイズブルーイングカンパニー(福岡市)の開発商品です。今夏に久留米市六角堂広場で開催されたビアフェスタ九州で初お披露目いたしました。

「焙煎はとむぎアイスクリーム」食べていただきました！！

久留米南部の青年部員であり県青連の永田会長曰く「芳ばしい香りとミルクの一体感が楽しめますよ」とのこと。焙煎はとむぎを皮ごと滑らかな微粉末にして混ぜ込んだアイスクリームは焼肉大昌園の子会社「ピル・オルパミ」(藤光町)の開発商品です。



第11回アグリフードEXPO



グルメ & ダイニングスタイルショー



FOOD EXPO KYUSHU 2016



地方銀行フードセレクション



国際化粧品展

小学館の雑誌 サライ  
2017年2月号に掲載

はとむぎの里で育まれた地産の美味

はとむぎプロジェクトホームページ  
https://www.hatomugi-kurume.com

【注】研究開発商品の平成28年度中の販売は、テスト販売で、実販売は平成29年度以降になります。

「今日の太宰府」探してね  
だざいふ<sup>なび</sup>  
DAZAIFU NAVI

太宰府市商工会

「古代～近代の歴史エコミュージアム」  
1350年の古都・太宰府を楽しみ尽くす

平成27年度調査事業にて  
古都の様々な課題が明らかに

一般には、多くの観光客が訪れる観光都市といわれる太宰府市ですが、実際には、観光客が訪れるのは太宰府天満宮と九州国立博物館だけであり、市内に点在する史跡に魅力を感じて回遊する観光客は少数派であり、それらを回遊できる仕組みが確立していない状況でした。そこで、平成27年度に「1350年の歴史ある古都・太宰府、今こそ「和の文化」発信拠点へ！」をテーマに調査を実施しました。この調査によって、「歴史文化が十分に生かされていないし、伝わっていない。」「天満宮に梅ヶ枝餅、それ以外の認識があまりない。」「なぜ太宰府のシンボルが梅なのかわからない。」「太宰府にしかない食を味わいたい。」といった課題が明らかになりました。



情報の一元化による発信強化と  
豊かな時間を過ごす魅力的コースと場所

太宰府市では、天満宮、九州国立博物館、公益財団法人古都太宰府保存協会、観光協会などさまざまな組織がそれぞれに太宰府市の魅力を発信しています。しかし、調査事業で明らかになったのは、お互いが、お互いの発信している情報を知らないという事実でした。観光や歴史文化関係者がお互いの情報を十分把握し合い、紹介し合えるような仕組みをつくることで、発信力を強化する必要があると確信しました。また、必要な情報として、太宰府市は古都としての歴史や和の文化を堪能できる場所であることから、時間の過ごし方（コース）の提案も必要です。なお、太宰府市民が自分たちのシンボルとまで考えている梅のイメージが、観光客にそれほど強く定着していないという調査結果を踏まえ、太宰府を象徴する存在として、太宰府の「梅」の発信力を強化する必要があるという考えに至りました。



<http://dazaifu-navi.com/>  
だざいふ<sup>なび</sup>



一元的に発信できる観光ポータルサイト構築  
集客力を上げ経済効果につなげる

情報発信強化とそのための一元化の仕組み構築として、28年度は情報を一元的に発信できる観光ポータルサイトの試作を行いました。さらに、このサイトが将来的に維持運営されていくための仕組み、運営者等も検討しました。古都・太宰府の真の魅力を発信し集客力を上げることで、経済効果につなげます。また、太宰府天満宮と梅ヶ枝餅以外にも、太宰府市を楽しんでいただける観光コースや商品を開発し、少しでも長く太宰府市に滞在・回遊していただくために、さまざまな組織との連携も図ってまいります。

歴史文化のシンボルとしての  
「梅」をテーマにした観光の取り組み試行・商品開発

単なる梅の加工食品では、先行する競合商品が多く、厳しい市場競争にさらされます。特に梅干しには既存の強力な競合商品が存在します。そこで、香りやデザインなど総合的に、シンボリックに梅を楽しむことのできる取り組みと商品作りを目指し、また「なぜ太宰府のシンボルが梅なのかわからない。」との声から、まずは太宰府と梅の関係をキャラクターを用いてわかりやすく解説したページを設けました。

「太宰府といえば天満宮」から、「太宰府といえば歴史と梅」と発想してもらえるような、観光客や住民自身の古都・太宰府という意識（そのシンボルとして、梅がある）の浸透を図ることができつつあります。これにより太宰府は、「古都」としてゆるぎない存在感を確立できるものと考えます。

福岡県商工会女性部連合会

8年ぶりの開催！！  
九州各県より総勢約1,200名の商工会女性部員が参加

九州ブロック商工会女性部交流研修会が  
本県にて盛大に開催される

7月13日（水）・14日（木）、平成28年度九州ブロック商工会女性部交流研修会が、福岡市「ヒルトン福岡シーホーク」で開催され、九州各県より総勢約1,200名の商工会女性部員が参加しました（福岡県からの参加は450名）。本大会は、九州地区商工会女性部が一堂に会し、研鑽を積み資質の向上を図るとともに、交流を通して女性部組織の育成及び強化に資することを目的に、九州各県持ち回りで開催されております。

初日13日には、「商工女性の主張発表大会」が行われました。九州各県の代表8名の中、本県代表である宗像市商工会女性部の千々和ひふみさんは、「女性部活動に参加して～オレンジの力。合併して10年～」と題して、宗像市商工会女性部の活動について堂々とした態度で、発表を行いました。審査の結果、最優秀賞は、沖縄県代表、渡嘉敷村商工会女性部の国吉佳奈子さんに授与されました。



最優秀賞の沖縄県代表、渡嘉敷村商工会女性部の国吉佳奈子さん九州ブロック代表として挑んだ11月の福島県での全国大会でも最優秀賞の栄冠を得た



福岡県代表 宗像市商工会女性部の千々和ひふみさん

開催県として  
最高のおもてなしで大会を盛り上げる

その後の交流会では各県選りすぐりのアトラクションが披露され、大変な盛り上がりを見せました。

翌日は、初めに「部員増強運動」の表彰や、「まち(地域)づくり顕彰」が行われ、各県の代表者に表彰状・顕彰状が授与されました。

引き続き、昨年度の全国大会で顕彰を受けた本県遠賀町商工会女性部長の竹内康子さんが事例発表を行い、他の女性部も大変参考になったようです。

その後、ふるさと料理人の藤 清光（とう せいこう）氏が講師となり、「食はいのち～足元の宝 ふるさと料理～」というテーマで記念講演を行いました。健康であればこそ家業や地域の活動もできる、と食文化の大切さを説きました。

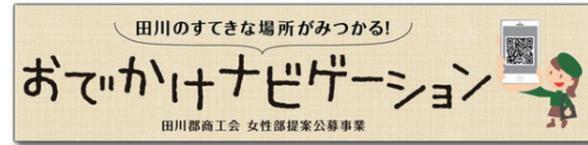
二日間の研修会では開催県として、最高のおもてなしで大会を盛り上げることができました。



高校プラスバンドの名門 精華女子高等学校吹奏楽部の演奏 平成28年度も全日本吹奏楽コンクールや全日本マーチングコンテスト等で金賞を獲得

田川郡商工会女性部(香春町・添田町・糸田町・大任町・赤村・福智町)

## 田川地区の魅力探索と情報発信事業 すてきな場所が見つかる案内ウェブサイトリニューアル!!!



平成27年度、田川郡内6商工会女性部共同事業の、田川の魅力を発信するためのウェブページにて、「名所」「グルメ」「温泉」と3つのカテゴリーに分類したPRマップを製作しました。また、その際に来て頂いた方へ円滑に観光していただくための散策ルート作成も提案しました。

平成28年度は、これらの内容をもう一度見直すため、郡内女性部員に対し、平成27年度作成のウェブサイト及び町村のページの特徴及び更新方法等のセミナーを開催し、今回のウェブサイトリニューアルについて意見の収集を行いました。今回のリニューアルでは、各町村毎のページに加え、お食事や史跡名勝等、目的別に分けられたページを用意しました。また昨年度作成した提案ルートを再度検証し、田川郡6商工会女性部がお勧めする「すてきな場所があったがわ提案ルート」と題してページを設けました。これらの機能は、各商工会側でも随時更新が可能であるため、さらなるページの充実が図れるように構築されています。

ウェブページのリニューアルの周知を図るためポスターやリーフレットを作成、公共施設、道の駅や鉄道駅に置かせて頂くとともに、県内のイベント等で配布も行いました。



### 実施内容

- 6月17日** 第1回提案公募事業委員会  
①事業概要説明  
②今後の事業の進め方について  
第1回提案公募事業講習会  
●ウェブページの機能と今年度のリニューアル
- 10月18日** 第2回提案公募事業委員会  
①チラシ・ポスター案について  
②今後の事業の進め方について  
第2回提案公募事業講習会  
●ウェブページのリニューアル後の機能
- 10月31日** ポスター・チラシ 各商工会配布  
ウェブページリニューアル完了
- 11月16日** 第3回提案公募事業委員会  
①今年度の結果について  
②今後の事業の進め方について



### インターネットの積極的活用 前向きになった商工会女性部

リニューアルに伴い、新しい地域の魅力をいち早く発信できる機能の追加は、今後の来訪者増に期待がもて、女性部員はもちろんのこと、商工会員にとっても売り上げ増等の効果があるものと考えています。紙媒体での情報発信に限界を感じ、インターネットの積極的活用に向向きになってもらったことにも成果を感じました。

### 福岡県田川郡は自然あふれる山々に囲まれた町 史跡名勝や炭鉱の歴史 今後ますますのPR

ウェブページに加えてポスター及びリーフレットの製作は、当初の計画よりも完成が遅れてしまい、若干PRが不足したのは否めません。これを補うべく今後は、早期にPR計画を策定し、実行していこうと考えています。そのために、まずはQRコードを載せた名刺サイズの配布物、また女性部の名刺にQRコードを掲載等々、アイデアも浮かんできています。また、田川郡の魅力を発信するために制作した情報サイトは、今後も情報量を充実するべく、提案ルートページの情報追加を軸に、情報の配置の仕方や、興味をひく工夫などに努めていきます。閲覧者からの意見も収集し、より活用して頂きやすいページに随時改良して田川散策・観光の強い味方になるよう育てていきます。



田川郡商工会女性部部長の皆さん



すてきな場所があったがわ  
「おでかけナビゲーション」  
<http://tagawa-suteki.jimdo.com/>  
あったがわ で検索!



源じいの森 (赤村)



井上陽水の歌碑 (糸田町)



うきは市商工会女性部

形の不揃いな商品や生産余剰品を利用  
うきは産「富有柿（ふゆうがき）」を使った味噌の開発販売

地域内外にうきはの魅力を発信  
来街者の増加を図る

自然豊かなうきは市には、地域外の方には知られていない魅力ある特産品が数多くあります。その特産品のひとつ、富有柿（ふゆうがき）を利用して生活必需品調味料である味噌を開発し、地域内外にうきはの魅力を発信することで、来街者の増加を図ることを本事業の目的とし実施しました。また、素材の富有柿においては、産地ならではの市場に流通しない形の不揃いな商品や、生産余剰品を利用することとし、その利用促進にもつなげました。

他にもお茶・ゆず・しいたけ・ゴーヤなど...  
試食・アンケート調査を実施

1年目の平成27年度は市内のしょうゆ・みその老舗醸造蔵元の部員が講師となり、味噌作りの勉強会を行い味噌製造の基礎を学びました。うきは市の食材（富有柿・お茶・ゆず・しいたけ・ゴーヤなど）を使用した味噌の試食を行い、商品化の目処をつけることができました。

また、イベントの際に、これらの試作品を使って試食アンケート調査を実施し、販売に向けての貴重な情報を収集しました。その結果をもとに改良を行い、富有柿を利用した味噌に決定しました。それと同時に、専門家等による指導を受け、購入者の年齢層・利用目的を想定して数段階の価格設定を行い、それに合わせたラベル・容器等の考案を行いました。さらに、地元の窯元に味噌つぼの作成を依頼するなど、地域性を活かした商品開発に努めました。



柿を象った味噌つぼ(中央)と柿みそ・柿みそディップ(右)



味噌作りの勉強会

平成28年度の取り組み実績

- 6~12月  
商品開発勉強会（毎月開催 計7回）
- 7月13・14日  
九州ブロック商工会女性部交流研修会物産展出店
- 7月19日  
全女性連おもてなし交流事業受入時に試作品販売  
（佐賀県：佐賀市北商工会女性部）
- 9月11日  
全女性連おもてなし交流事業受入時に試作品販売  
（大分県：佐伯市番匠商工会女性部）
- 9月17・18日、24・25日  
博多マルイでの出展販売会参加
- 11月4日~1月31日  
道の駅うきはにて試験販売（現在も引き続き販売中）
- 1月10日  
うきは産食材を使用した味噌の商品開発打ち合わせ会議
- 1月19日  
全女性連おもてなし交流事業受入時に試作品販売  
（佐賀県：佐賀三神地区商工会女性部）
- 2月11日  
親商工会主催「ウキウキうきはマルシェ」に出店  
（柿みそ・柿みそディップ・柿みそかりんとう）

柿とうきは市

甘柿の生産量が11,000トンを超え、全国2位の福岡県の中で6,000トンを超える県内トップの生産地です。



市のキャラクター「うきびー」

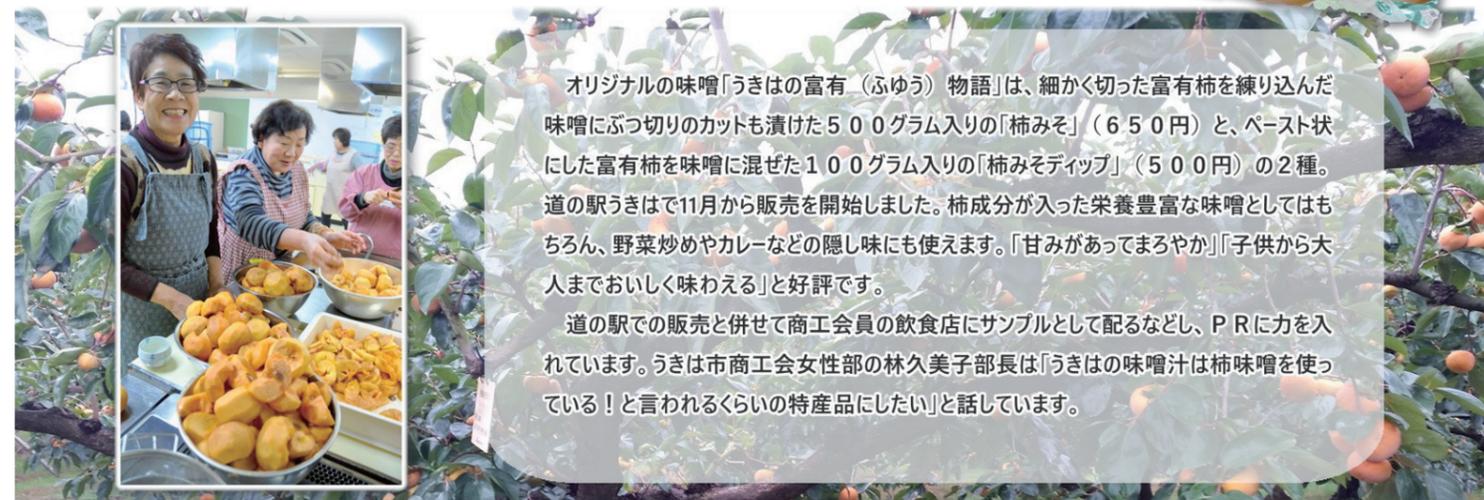
地域の特産品を利用した新たな商品を開発することにより、地域内外にうきは市の魅力をPRすることができ、地域の経済活性化に寄与できます。また、地域の特産品で特に味や品質に問題のない市場外商品を有効に利用でき、また部員専門業者に味噌・器の製作を依頼し販売することによって、各事業所に新たな売上が上がり、事業活性化も生まれることに繋がります。



うきは市商工会女性部役員のみなさん

現在の部員数は約160人  
ものすごく元気な女性部です

本事業が円滑に推進した要因として、部員数の多さが挙げられます。平成27年度に40人が加入、これが全国で1位となり、平成28年度の商工会女性部全国大会で表彰されました。他にも熊本地震の際も、部員自ら被災地に出向き支援活動を行うなど、他に類をみないアクティブな一面は圧巻です。



オリジナルの味噌「うきはの富有（ふゆう）物語」は、細かく切った富有柿を練り込んだ味噌にぶつ切りのカットも漬けた500グラム入りの「柿みそ」（650円）と、ペースト状にした富有柿を味噌に混ぜた100グラム入りの「柿みそディップ」（500円）の2種。道の駅うきはでは11月から販売を開始しました。柿成分が入った栄養豊富な味噌としてはもちろん、野菜炒めやカレーなどの隠し味にも使えます。「甘みがあってまろやか」「子供から大人までおいしく味わえる」と好評です。

道の駅での販売と併せて商工会員の飲食店にサンプルとして配るなどし、PRに力を入れています。うきは市商工会女性部の林久美子部長は「うきはの味噌汁は柿味噌を使っている！と言われるくらいの特産品にしたい」と話しています。





福岡県商工会青年部連合会・粕屋町商工会青年部

## 青年経営者の主張発表大会全国大会出場 全国組織化50周年記念5,200名の目前で粕屋ブロッコリーPR

平成28年11月8、9日、商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典ならびに第18回商工会青年部・女性部全国大会（福島大会）が、福島県郡山市のビックパレット福島において、青年部女性部合わせて約5,200名の参加者のもと盛大に開催されました。

記念式典は、地元郡山高校の合唱によるオープニングで始まり、全青連・全女性連旗に続き各都道府県の青年部・女性部旗の入場でスタートしました。植村全青連会長、末武全女性連会長、石澤全国連会長の式辞に続き、安倍内閣総理の祝電の他、多くのご来賓の方に心温まる御祝辞をいただきました。

式典後は引き続き全国大会1日目が開催され、開催県の福島県青連会長の熱い開会宣言に始まり、松村経済産業副大臣をはじめとするご来賓の方々に御挨拶をいただきました。そして、女性部の主張発表大会、青年部の主張発表大会と続き、各ブロック代表の素晴らしい発表が行われました。本大会では、粕屋町商工会青年部の石津聖彦(きよひこ)氏が、福岡県大会、九州ブロック大会と勝ち上がり、青年部の九州ブロック代表として出場しました。

翌日の全国大会2日目は、東日本大震災から5年経った現状報告と、これから目指すべき姿を東北ブロックの青年部員からの発表でスタートしました。

その後は前日に行なわれた主張発表大会の結果発表が行われ、青年部の最優秀賞には、東北・北海道ブロック代表、南三陸商工会青年部の方が見事輝き、石津氏は惜しくも優良賞となりました。



左の写真：「ブロッコリーとチーズのソルティクッキー」と「ブロッポー」を持つ石津氏  
右の写真：町青年部と共同で「ブロッポー」作りを行っている様子

### お菓子を通して粕屋町のブロッコリーを広めたい 青年部とブロッコリーのおかげで売り上げもアップ

石津氏は篠栗町出身。辻製菓専門学校（大阪市）を卒業後、福岡市内の洋菓子店で約10年間修業し、粕屋町で2013年に店をオープンしました。ブロッコリーの菓子作りを始めたきっかけは、その1年後。町商工会から地域おこしのために商品を作ってほしいと依頼を受けたのがきっかけでした。石津氏は「この町で商売をさせてもらい、その恩返しをしたかった」と振り返っています。刻んだブロッコリーを生地に混ぜると青臭く、加熱してジャムにすると茶色く変色し、試行錯誤を半年以上繰り返し、乾燥したブロッコリーを粉末状にし、チーズと一緒に生地に練り込んだクッキーを完成させました。平成27年春に発売すると「ワインにも合う」と評判になり、関東のスーパーでも扱われるようになりました。平成28年8月には町商工会青年部と共同で開発した、ブロッコリーを混ぜた生地を揚げたかりんとうのようなスナック「ブロッポー」も販売。塩味、コンソメ味、きなこ味の3種類をそろえ、これまで計1,000袋以上が売れています。「青年部とブロッコリーのおかげで売り上げもアップ」と石津氏、主張発表大会では、これらのことを発表し「全国に粕屋町の特産品、ブロッコリーを広めることができた」と信じている」で締めくくりました。

### 小学館の雑誌「サライ」2017年2月号に掲載

町の特産物で大人の美味しさを創作

粕屋町の特産物であるブロッコリーを、町の特産物としてPRするために、町商工会青年部と共同で「ブロッポー」を開発しました。この商品は、ブロッコリーを混ぜた生地を揚げたかりんとうのようなスナックで、塩味、コンソメ味、きなこ味の3種類をそろえています。この商品は、町の特産物としてPRするために、町商工会青年部と共同で開発しました。

### 主張発表全国大会も終了を迎え 石津 聖彦

2日間に渡る青年部の主張発表全国大会も終了を迎えました。結果は優良賞と悔しい結果になりましたが、この度はこの様な場所に立たせて頂いた事への感謝の気持ちでいっぱいです。これもひとえに良き先輩方のご指導と良き仲間へ恵まれたおかげであると感じております。ここまでただがむしやりに無我夢中でやって参りました。そんながむしやりに過ごした日々が私の人生の中でかけがえの無いものとなりました。今後も同じように精一杯努力することでお世話になった皆様の御厚情に報いる事だと信じています。この度は、皆様の多大なるご指導、ご支援本当にありがとうございました！

2016年11月9日



左の写真：全国大会終了後の伊藤善亮(左)と石津氏  
右上の写真：全国大会終了後の粕屋町商工会青年部員  
右下の写真：粕屋町の親会に開催してもらった大会出場報告会

### 練習を重ねる毎に一丸となっていく青年部 ここで得た物は一生の宝物

粕屋町商工会青年部の伊藤善亮(よしあき)部長は「最高の仲間と最高の時間を過ごしたこの6ヶ月間、頂点を取る事が出来ませんでした。人と人との繋がりを強く感じる事が出来ました」とのこと。主張発表の練習を部員一丸で取り組み、練習を重ねる毎に結束力が強くなっていく姿を目の当たりにし、部長としてこの主張大会に取り組む事が出来て良かったと感じておられます。この挑戦をきっかけに新たな出会いもたくさん生まれ、石津氏だけでなく、粕屋町の青年部にも多く得るものがある、一生の宝物になるとのことでした。この経験を今後益々の原動力にしていく粕屋町の青年部に期待が持てます。

### パティスリー・マルジョレーヌ

糟屋郡糟屋町粕屋町長者原西1丁目7-8  
電話：092-410-8268




## 7. 青年部活動



### 福岡県商工会青年部連合会

## 本震発生、その日のうちに救援物資の搬入 流通マヒのため全国の青年部同志の物資の受け皿になる！

#### 平成28年熊本地震 - 発生時の概要

**4月 21時26分 熊本県 - Mj6.5 (Mw6.2) / 震度7**  
**14日 主に益城町に甚大な被害**

**4月 1時25分 熊本県 - Mj7.3 (Mw7.0) / 震度7**  
**16日 益城町周辺に及ばず県内の広範囲に被害拡大**

4月14日翌日の夜明けと共に熊本県青連は、約5年前の豪雨災害時の教訓の元、ストックしておいた物資等を益城町に運び、迅速なる支援活動を開始。翌日も引き続き支援活動を展開予定であった。この時点で、福岡県青連への支援要請は無かった。

4月16日1時25分、震度7の本震。益城町周辺だけでなく熊本県内の広範囲に被害拡大。夜明けに予定されていた熊本県青連の益城町での支援活動は中止。

その日の午後、水やすぐに食べられる物等を大至急求められる。福岡県青連としては、是が非でも、その日のうちに届けるという会長の英断の元、要請を受けてから数時間後、余震の続く中、その日の深夜に宇土市役所へ第1便を発車させた。



搬入後の宇土市役所前にて現地の青年部と



阿蘇神社

福岡県商工会青年部連合会は、震災により流通がマヒし、現地への流通ができない状況となったため、全国商工会青年部連合会の要請に応え、みやま市の協力により廃校となっている旧：山川南部小学校の体育館をお借りして、ここを拠点とし、各々の都道府県の青年部が用意した救援物資の受け皿となりトレーラー4台分の物資を輸送しました。



福岡県商工会青年部連合会会長を務める小早川氏より輸送の際の運搬車両の提供を受ける。世代を超えての支援活動となった。

2012年の九州北部豪雨、主に筑後地方が被害を受けた際に、熊本県商工会青年部連合会からたくさんの救援物資が迅速に届けられ、復興を支えて頂いた恩返しをとの思いと、一刻も早く必要なものを現地に届けたいとの思いで、拠点で全国の青年部同志からの救援物資を集積、分別の後、熊本県連が用意した益城町内の拠点に輸送しました。



### 福岡だからできたこと

福岡県商工会青年部連合会 会長 永田 丈士

はじめに、熊本、大分を中心とした震災で被災された皆様様に心より御見舞い申し上げます。

このたびの震災では「同じ九州として、隣県としてできること」は何なのかということ熟考し、全国の要請を受けることにしました。この活動を通じて、改めて青年部の行動力、仲間を思う強い絆を感じることができました。

「福岡だからできたこと」と強く思います。福岡県の青年部のみなさま、商工会職員のみなさまのご協力に、心より感謝を申し上げます。



### 本震発生から半日後に物資集積拠点を設ける

筑紫野市商工会青年部

福岡県青連に救援物資の要請の連絡が入ったのを知り、筑紫野市商工会青年部は、土曜日でしたが職員の協力も得、即時に商工会内の倉庫を開放し、救援物資の受付を始めました。SNSなども活用し商工会関係者だけでなく一般の方にも周知を行い、数時間でトラック一台分の物資を集めることができました。

翌日からは、被災地の青年部からの情報収集に努め、地域の方々に広く発信し物資の調達を行いました。後に、福岡県青連のサブの集積拠点として、福岡県内の県央、県北の物資の受け入れ先として機能させました。

